

## シンポジウムSY2-2

### 当院（徳洲会グループ）における学会認定制度の活用方法

#### ～資格取得の方向性と具体的な役割～

赤嶺史郎<sup>1)</sup> 坂名城尚<sup>1)</sup> 向畑恭子<sup>1)</sup>

宮城宏喜<sup>1)</sup> 清水徹郎<sup>2)</sup>

1) 医療法人徳洲会 南部徳洲会病院 臨床工学部

2) 医療法人徳洲会 南部徳洲会病院 高気圧酸素治療部

#### 【はじめに】

HBO関連の学会認定技師（技士）制度には、JACHOD・JSHUMの両専門学会が認定する認定技師資格のほか、日本臨床工学技士会（JACE）の専門臨床工学技士がある。当院の2021年度までのHBO関連資格取得状況は、JSHUM：2名、JACE：3名、JACHOD：未更新のため失効4名となっている。

#### 【資格手当と規定】

徳洲会グループ（CE約900名／HBO：25施設）の臨床工学部会では資格手当を支給しており、各専門臨床工学技士を中心に計12資格が対象としている。HBO関連では2021年度よりJSHUM高気圧酸素治療専門技師も追加承認されたが同一領域での重複支給はできない規定のため、JSHUMおよびJACEの2資格取得しても支給対象は1資格のみとなっている。

支給対象条件は、難易度（希少性）が高い・診療報酬算定または施設基準に関わることが必須だが、我々CEには単独で算定される資格がないため、難易度（希少性）が最も重視されている。合格率は60%程度でも高いと評価されるが、JSHUMはグループ内でも現在8名しかいないため、希少性が評価され対象資格となっている。JACHODは上記理由により対象資格とはなっていない。

#### 【資格手当と資格取得の方向性】

同臨床工学部会の教育指針では、資格の取得のみまたは資格手当だけを目的としないことを掲げている。認定技師（技士）取得は基礎となるルーチン業務を習得した3年目以降としており、関係法規や安全（感染）管理などを習得しながら段階的に成長し、最終的には専門臨床工学技士として最新の知見・研究・後進の育成など、高い専門性を発揮することができる人材の育成を目指している。

#### 【HBO関連資格取得後の具体的な役割】

3年目までのHBO教育としてJACE業務基礎研修

会を受講し、基礎となるルーチン業務（日常点検・所持品検査・装置操作や設定管理・治療経過入力）の習得に努め、3年目以降はJSHUM教育集会および高気圧酸素治療専門技師を取得し、定期点検・加压方式検討・緊急時訓練・データ集計・学会発表や院内講習会などを担当する。7～8年目以降はJACE指定講習会および専門臨床工学技士取得により、保守点検計画の策定・治療効果判定・マニュアル作成や改訂・増患対策・コスト削減などが実施できるよう、段階的に成長していく過程（具体的な役割）を提示し、その実績を適切に評価する仕組みを構築する。

#### 【有資格者による実務】

各領域で業務の充実化・効率化を図るためワーキンググループ（全国より10名前後）を設置しており、HBOではJSHUM有資格者を選出している。近年はWEB形式で活動しながら2ヶ月毎の臨床工学部会執行部会議において活動報告も行っている。主な活動内容は、CE間のHBO関連の情報共有、装置の操作・管理技術向上、インシデント・アクシデント事例の集約、アンケート調査・部会執行部報告用の資料作成、スタッフ教育などが挙げられる。これらは全て業務としての位置付けであるため、基本的に業務時間内に行うことを前提としており、各担当者の負担軽減に配慮する必要がある。

#### 【HBO関連資格の方向性】

- ① JSHUM・JACHODの両専門学会認定資格については、両学会の統合に伴い、認定資格も統一されることを期待している。
- ② JACEは難易度（正答率80%以上）が異なり、さらに長い実務経験に加え取得単位数も多く、認定されるまでのハードルは高い。当グループでは資格手当が同等に支給されるため、同一領域での重複支給禁止の影響から、JACE取得の優先度は低い。
- ③ 「教育認定施設」の条件となるJSHUMのような認知度もないJACE取得は必要性が低いかも知れないが、JACEでのPDやWSのほか、業務検討・検定委員会での実質的な活動を行うことが主な役割になっていくのではないだろうか。

#### 【まとめ】

資格手当は個々のモチベーションUPにも繋がっているが、お金のために資格を取得するのではなく、実務として目に見える形で業績を示し、組織貢献度を高めていくことがHBO関連の専門技師（技士）または専門CEに求められている。